

日本印刷新聞

発行所
日本印刷新聞社
 東京都中央区新富1-16-8
 電話(03)3553-5681(代表)
 大阪市中央区北浜3-5-19
 605号 電話(06)6222-0634
 振替 口座 00140-3-6981

価格・検定

「自己ガク」電子
 ショーン(ビジネス)

共同印刷

「自己ガク」は、自己啓
 発や資格取得など「学び」
 をテーマにした電子書店。
 ミナーなど取り扱いコンテ
 ントは、ラングを主とした多
 岐なノウハウを持つ。新卒に
 ついては、現在、113人
 48社、年間約700人もの
 学生の就職相談へ応じてい
 る。

同社の強みは、蓄積され

共感資本を高める

「グリーンクレド」提案

【人事・労務(東京都台東区、矢張大輔代表取締役)】
 社長は日本各地で390社を超える企業の人事制度、賃金制度、ES(社員満足度)コンサルティング、ツール「グリーンクレド」

ものであり、これを実践することで、企業としての共感資本を高めることができ

CSRの社内浸透へ企業DNAを育てる

導入の提案を進めている。

現在はモノやお金中心の資本主義から「共感資本」を重視する時代へ変わってきている。共感資本とは、ES・社会・環境に関する取り組みを通して高められる組織ブランドであるとも言える。人事・労務が提案しているグリーンクレドは、経営理念実現のための日々の行動や社会的な課題への取り組み、環境に配慮した活動などを実践するために組織の一員として必要な共通の価値観・行動指針をわかりやすい言葉でまとめた指針をポトムアップで構

築する活動を進めている。

この大川印刷のクレド作成のサポートとして関わった人事・労務は、グリーンクレド導入の効果として、単なる「CSRの社内への浸透」だけでなく、次の点を挙げている。

①人・社会・環境とのつながりを深められる②企業文化・企業DNAを育てる仕組みができる③ESを軸とした組織が作られ、社員が仕事を通じて環境や社会とのつながりを実感し、喜びや感動、誇りを感じモチベーションを持続することが重要とされている。

②「場」を創って、共に動く。場の共有が変革成功の30%と言われるほど、場を創って共に動いていくことが重要とされている。

③組織変革で「創発」を生み出す。変革の主体となるのは「組織」で、「個人」は組織が変わるための手段として存在したため、反発の声が出てくることもある。そこで対話を重視した数々の「場」をつ

くり、組織を構成する社員主体のポトムアップ形式による組織開発を推進

④変革を推進・定着させるのは「トレーナー」。同社のコンサルタントがもつ「ファシリテーションスキル」や「組織に影響を与えるPDC Aサイクルをまわす能力(コンセプチュアルスキル)」をリーダー自身に教育するプログラム。

リーダーや若手社員自ら「社内トレーナー」となって社内実践して展開できるよう専門家の立場から支援する

⑤主役は社員。企業を成長させる。企業DNAをさらに強化し、永続的な発展につなげられるようESを軸とした変革を推進。グリーンクレド活用や対話を推進し、ビジョン構築能力を高め、全社員参加のもと、会社の根幹となる組織文化を構築していく

第2回オープン・スペース・テクノロジー



大川印刷で行われているOSTの一例

人事・労務

人材採用・研修特集

グリーンクレド導入・運用プログラムのポイントとして人事・労務は以下の5

つの特徴を挙げている。
 ①変革は「企業の水続的な成長」の礎「対話をはじめとするファシリテーションスキルをプロジェクトチームメンバーやリーダーが身につけ、各々の職場での実践を通して、問題の見え方を推し進め、アクティビティ等の継続的な組織開発で「学習する組織」を築く

②「場」を創って、共に動く。場の共有が変革成功の30%と言われるほど、場を創って共に動いていくことが重要とされている。

③組織変革で「創発」を生み出す。変革の主体となるのは「組織」で、「個人」は組織が変わるための手段として存在したため、反発の声が出てくることもある。そこで対話を重視した数々の「場」をつ

くり、組織を構成する社員主体のポトムアップ形式による組織開発を推進

④変革を推進・定着させるのは「トレーナー」。同社のコンサルタントがもつ「ファシリテーションスキル」や「組織に影響を与えるPDC Aサイクルをまわす能力(コンセプチュアルスキル)」をリーダー自身に教育するプログラム。

リーダーや若手社員自ら「社内トレーナー」となって社内実践して展開できるよう専門家の立場から支援する

⑤主役は社員。企業を成長させる。企業DNAをさらに強化し、永続的な発展につなげられるようESを軸とした変革を推進。グリーンクレド活用や対話を推進し、ビジョン構築能力を高め、全社員参加のもと、会社の根幹となる組織文化を構築していく

今回の合格者数は463人(受験者数759人)。6期通算での合格者数は2807人(通算受験者数4628人)。

同試験は毎年、11月3日に行われている。今回の受験者の業種別内訳は、広告主16%、広告会社23%、広告制作会社8%、SP・マーケティング会社25%、印刷会社27%となっており、年々、印刷会社系、広告制作会社系、さらには広告主系の受験者が増えている。また、受験者の年代別割合は、20代30%、30代47%、40代21%、50代2%と、20-30代からの受験者が集中している。

「自己ガク」は、自己啓発や資格取得など「学び」をテーマにした電子書店。ミナーなど取り扱いコンテンツは、ラングを主とした多岐なノウハウを持つ。新卒については、現在、113人48社、年間約700人もの学生の就職相談へ応じている。

同社の強みは、蓄積された

「自己ガク」は、自己啓発や資格取得など「学び」をテーマにした電子書店。ミナーなど取り扱いコンテンツは、ラングを主とした多岐なノウハウを持つ。新卒については、現在、113人48社、年間約700人もの学生の就職相談へ応じている。